

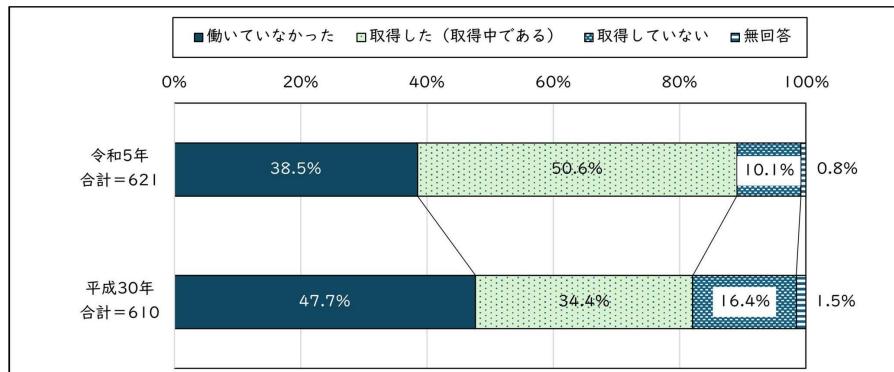
II. 育児休業制度の利用について

問28 あて名のお子さんについて、父母のいずれか又は双方が育児休業制度を利用しましたか。

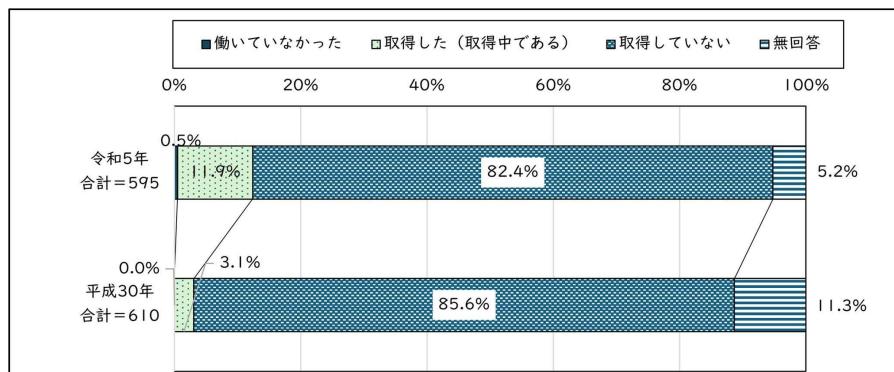
「父親」、「母親」それぞれにお答えください。

取得していない場合はその理由を下から番号を選んでご記入ください。（いくつでも）

【母親】



【父親】



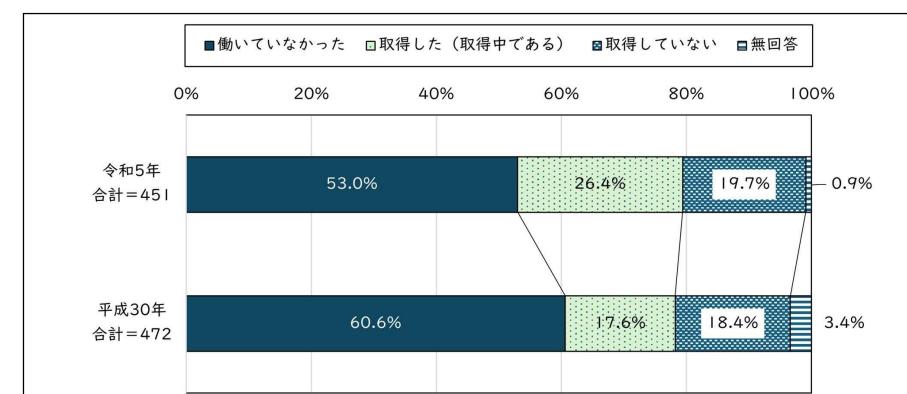
- 育児休業を「取得した」割合は、母親で 50.6%、父親で 11.9% となっていますが、無回答と働いていなかった人を除くと、母親で 83.3%、父親で 12.7% となります。

7. 育児休業制度の利用について

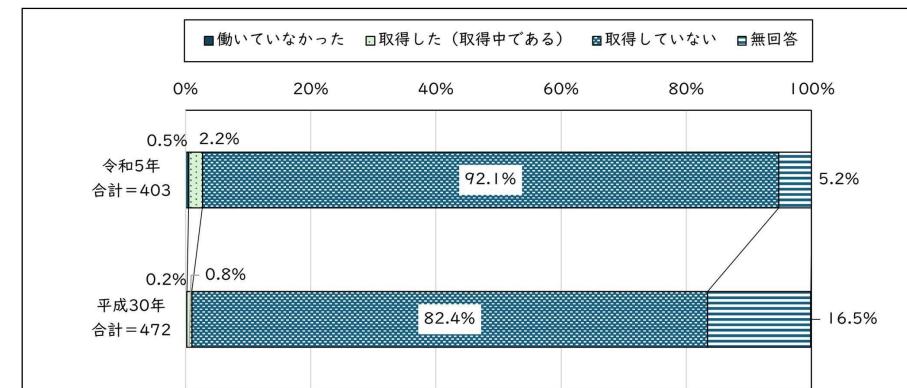
問21 あて名のお子さんについて、父母のいずれか又は双方が育児休業制度を利用しましたか。

「父親」、「母親」それぞれにお答えください。

【母親】

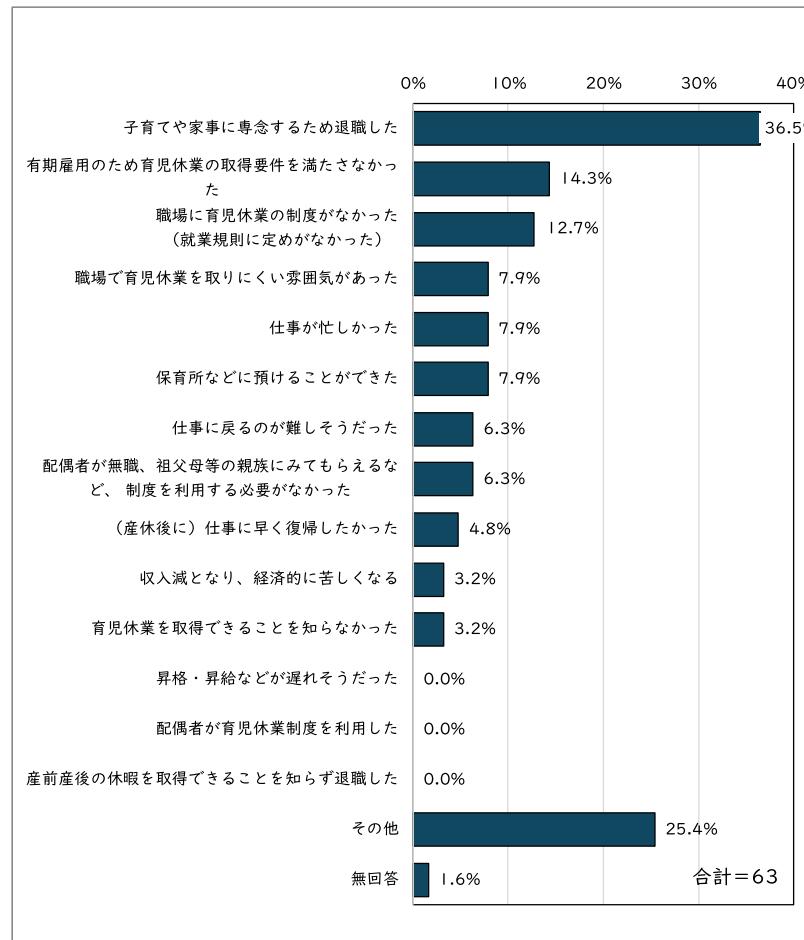


【父親】

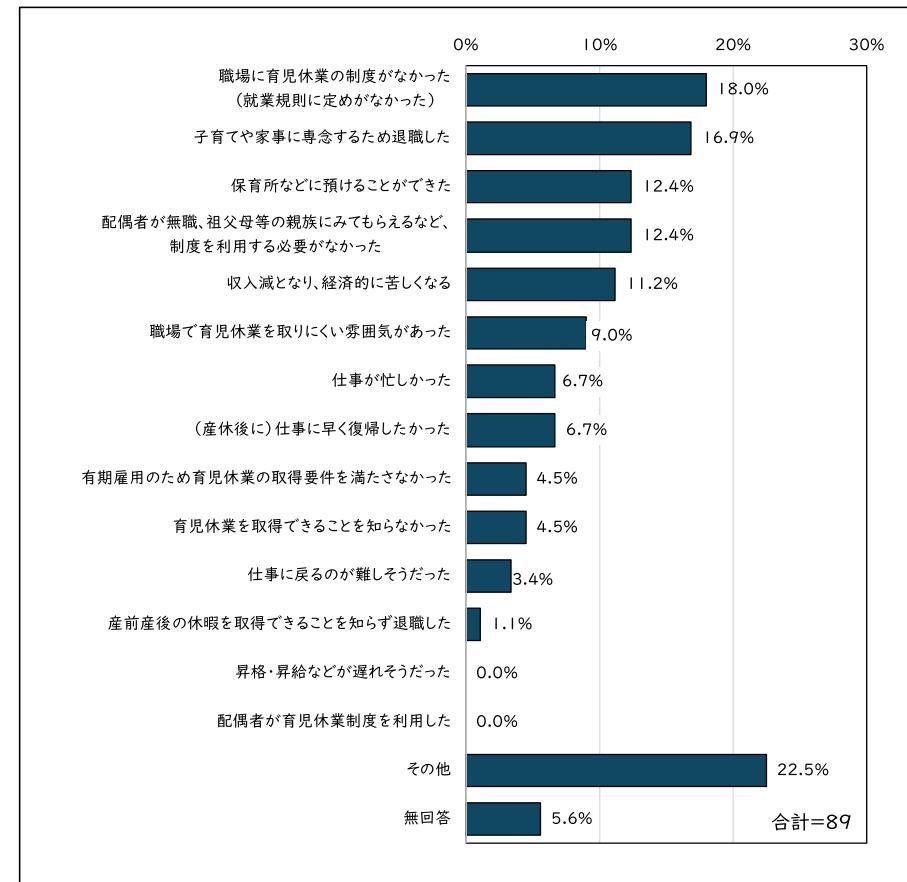


- 育児休業を「取得した」割合は、母親で 26.4%、父親で 2.2% となっていますが、無回答と働いていなかった人を除くと、母親で 57.2%、父親で 2.4% となります。
- 前回の調査結果に比べると、母親、父親ともに育児休業の取得率は高くなっています。

【取得していない理由（母親）】



【取得していない理由（母親）】

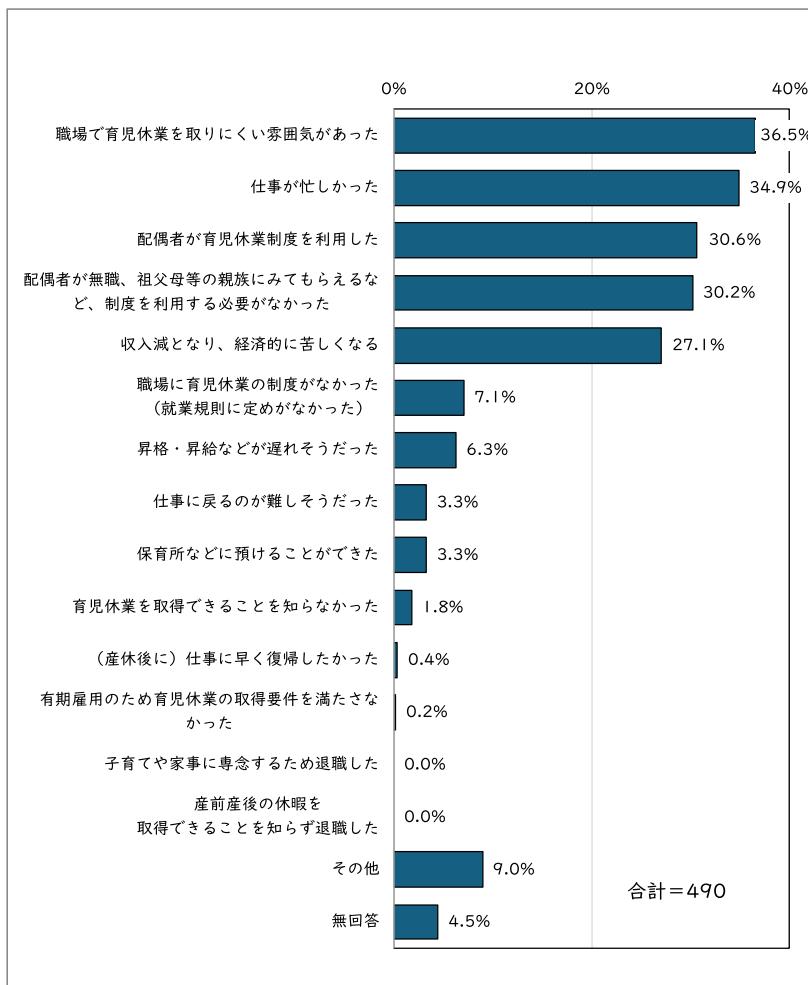


- ・ 母親が育児休業を取得しなかった理由については、「職場に育児休業の制度がなかった」が 18.0% と最も多く、「子育てや家事に専念するため退職した」(16.9%) がそれに続いています。

- ・ 母親が育児休業を取得しなかった理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」(36.5%)、「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかつた」(14.3%) が上位にあがっています。

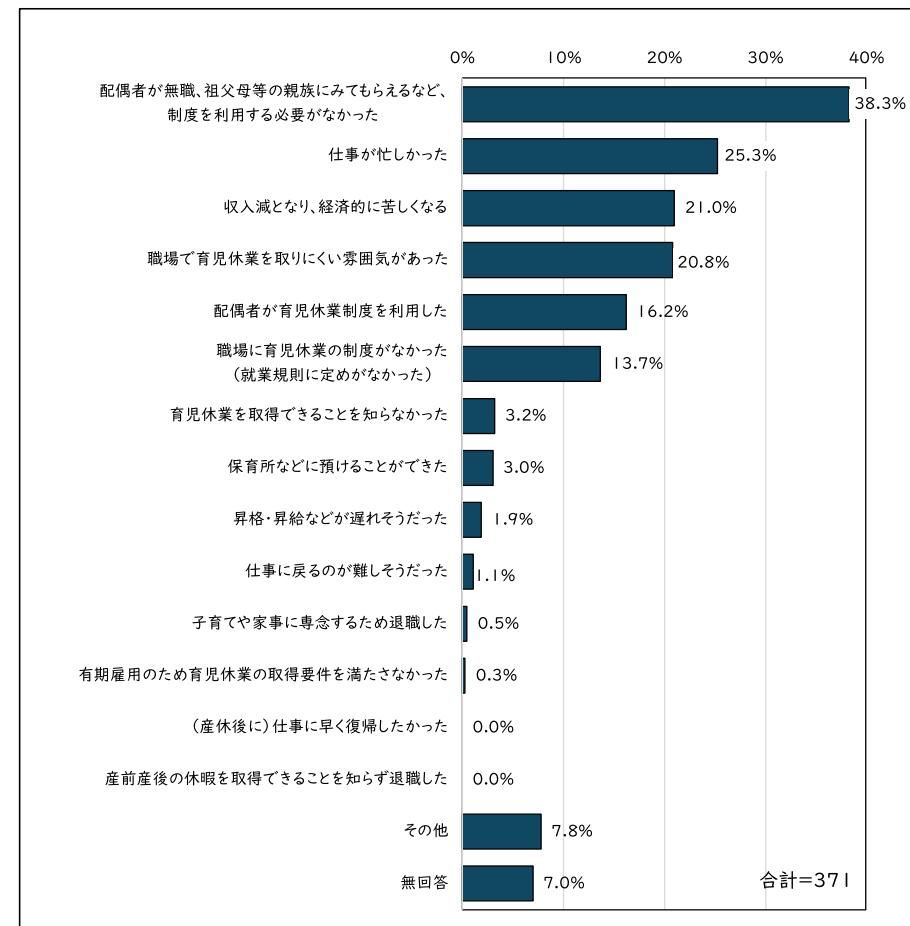
第2部 調査の結果（就学前児童の保護者に対する調査）

【取得していない理由（父親）】



第2部 調査の結果（小学生の保護者に対する調査）

【取得していない理由（父親）】

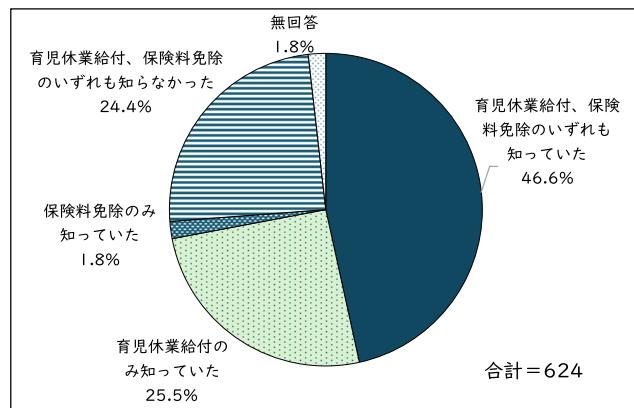


- 父親が育児休業を取得しなかった理由については、「配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が38.3%と最も多く、以下、「仕事が忙しかった」(25.3%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(21.0%)と続いています。

- 父親が育児休業を取得しなかった理由については、「職場で育児休業を取りにくい雰囲気があった」(36.5%)、「仕事が忙しかった」(34.9%)、「配偶者が育児休業制度を利用した」(30.6%)、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」(30.2%)「収入減となり、経済的に苦しくなる」(27.1%)などが上位にあがっています。

第2部 調査の結果（就学前児童の保護者に対する調査）

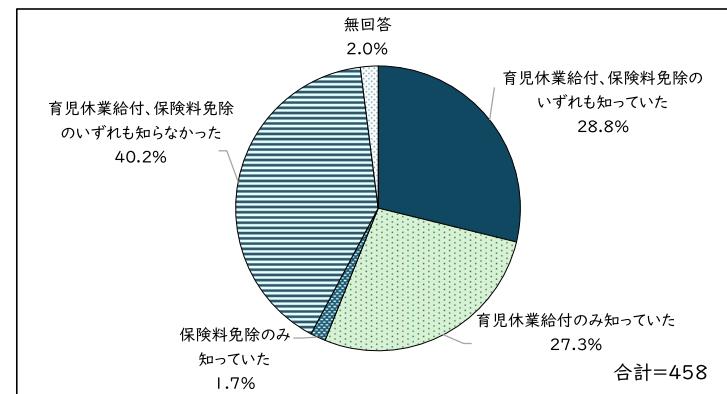
問 28-1 こどもが原則 1 歳（保育所における保育の実施が希望したけれども行われないなどの理由により育児休業を取得する場合は 2 歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組みやこどもが満 3 歳になるまでの育児休業等期間は健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存知でしたか。（○は 1 つ）



- 「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」と回答した人の割合は 46.6%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」と回答した人の割合は 24.4%となっています。

第2部 調査の結果（小学生の保護者に対する調査）

問 21-1 こどもが原則 1 歳になるまで育児休業給付が支給される仕組みやこどもが満 3 歳になるまでの育児休業等期間は健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存知でしたか。（○は 1 つ）

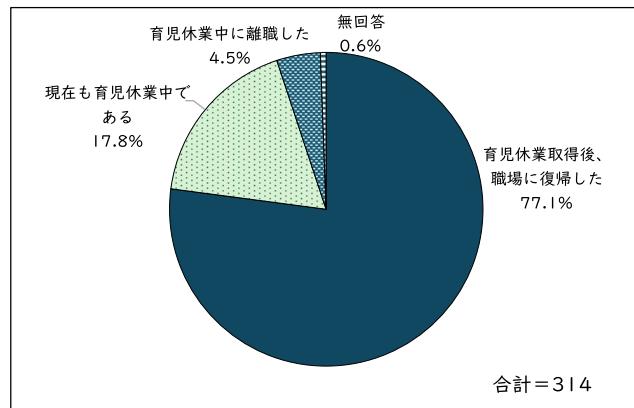


- 「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」と回答した人の割合は 28.8%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」と回答した人の割合は 40.2%となっています。

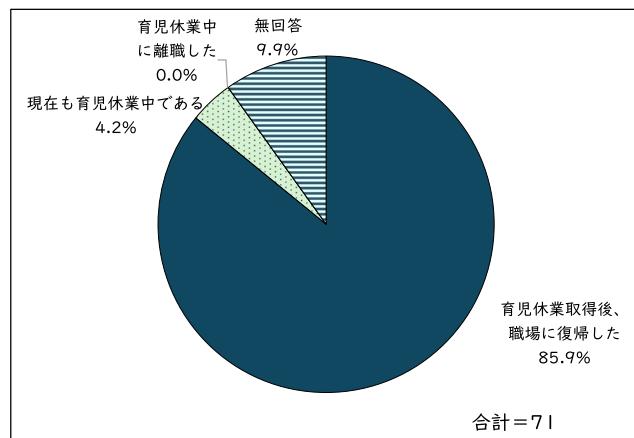
第2部 調査の結果（就学前児童の保護者に対する調査）

問28-2 （問28で2と回答された方に）育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（○は1つ）

【母親】



【父親】

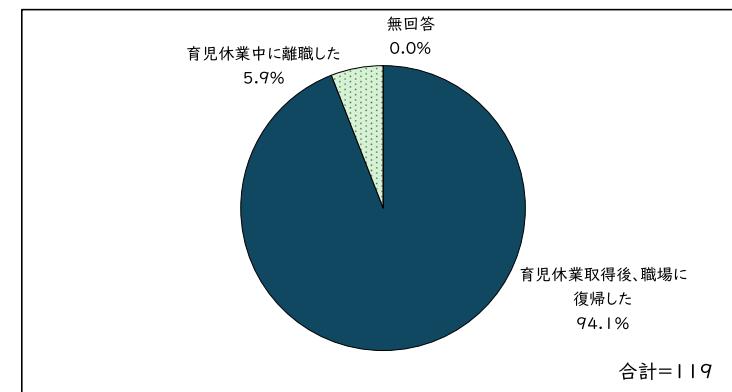


- 「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した母親の割合は77.1%で、「育児休業中に離職した」人の割合は4.5%となっています。
- 父親については、「無回答」と「現在も育児休業中である」を除けば、全員が「育児休業取得後、職場に復帰した」と答えたことが分かります。

第2部 調査の結果（小学生の保護者に対する調査）

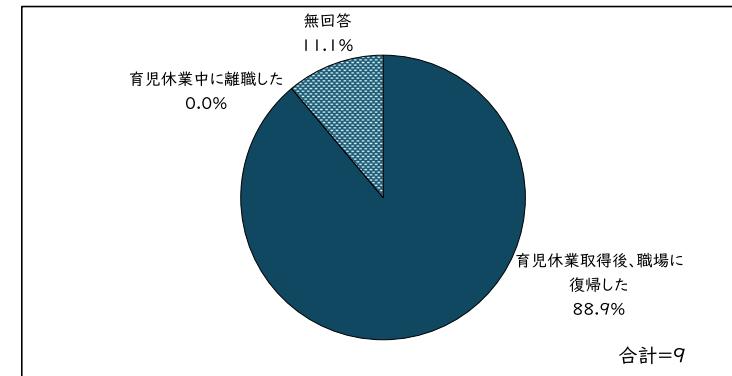
問21-2 （問21で2と回答された方に）育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（○は1つ）

【母親】



- 「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した母親の割合は94.1%で、「育児休業中に離職した」人の割合は5.9%となっています。

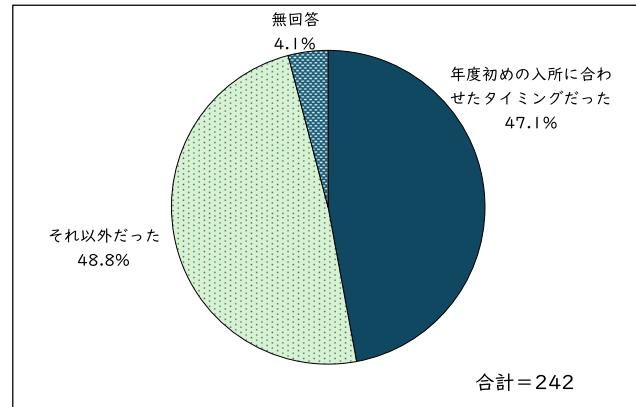
【父親】



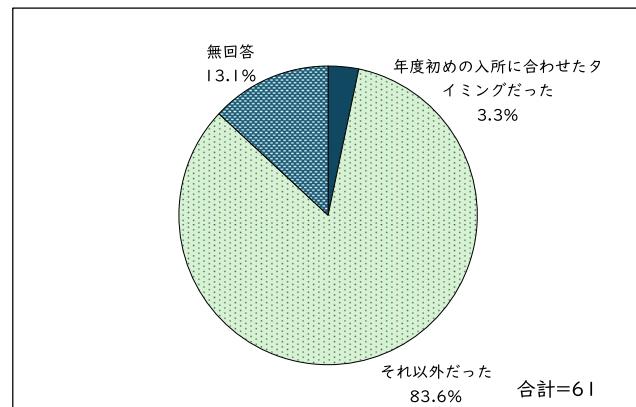
- 「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した母親の割合は88.9%で、「育児休業中に離職した」人はいませんでした。

問 28-3 （問 28-2 で「1」と回答された方に）育児休業から職場へ復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。（○は 1 つ）

【母親】



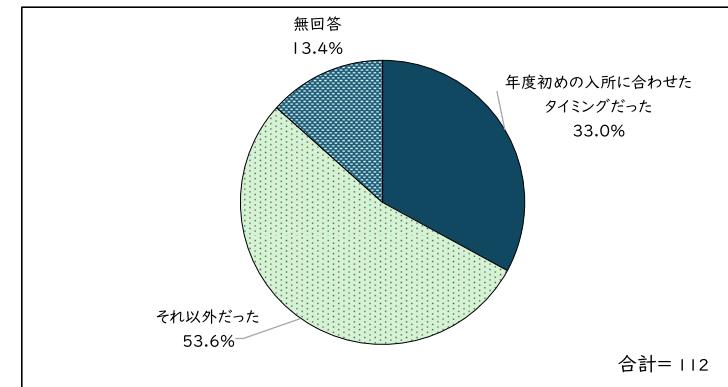
【父親】



- 「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した母親のうち、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」と回答した人の割合は 47.1% となっています。
- 父親について、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」と回答した人は 3.3% でした。

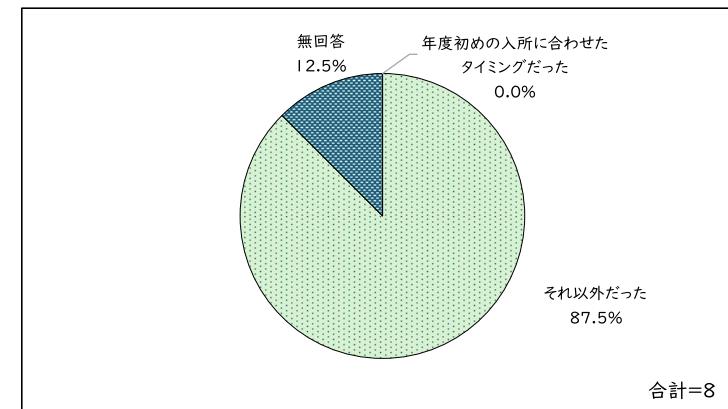
問 21-3 （問 21-2 で「1」と回答された方に）育児休業から職場へ復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。（○は 1 つ）

【母親】



- 「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した母親のうち、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」と回答した人の割合は 33.0% となっています。

【父親】

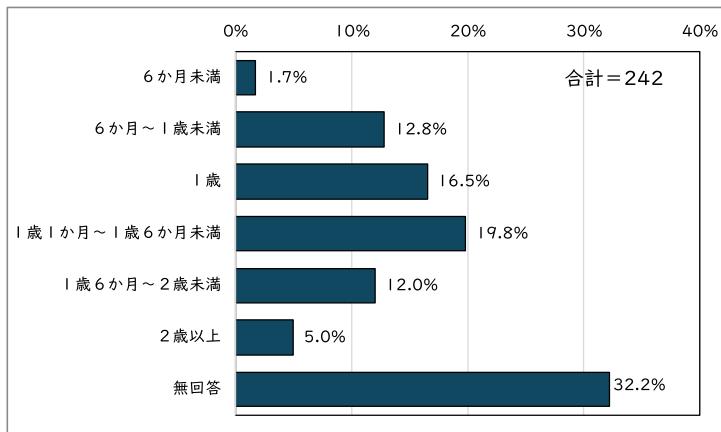


- 父親について、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」と回答した人はいませんでした。

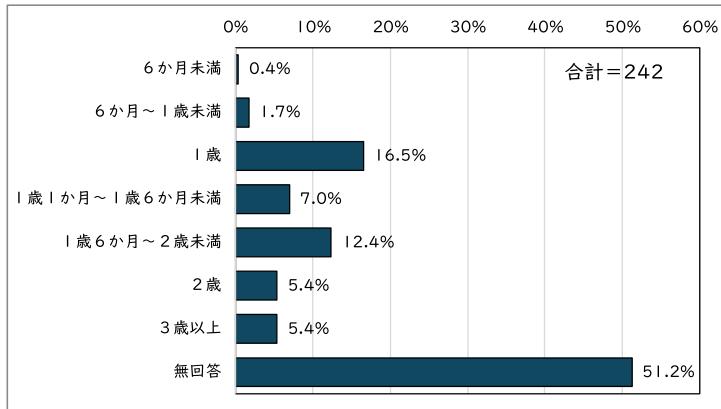
第2部 調査の結果（就学前児童の保護者に対する調査）

問 28-4 （問 28-2 で「1と回答された方に）育児休業は、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月まで取得しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、お子さんが何歳何ヶ月まで取得したかったですか。

【母親の職場復帰時期（実際）】



【母親の職場復帰時期（希望）】

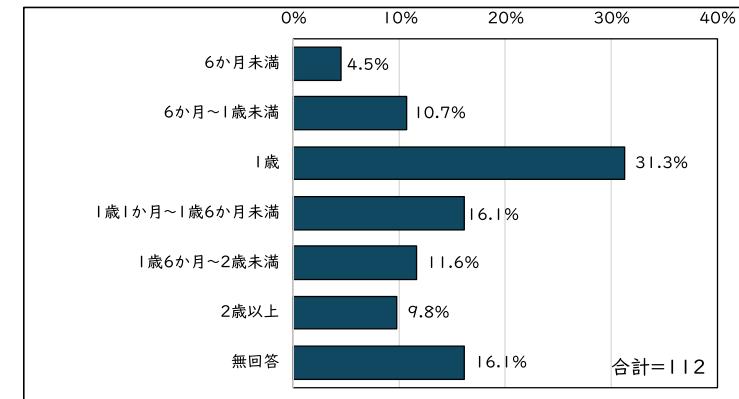


- 育児休業を取得した母親の5割が、子どもが1歳6か月までに職場復帰しています。希望を見ると1歳6か月までと回答した人の割合は25.6%となっています。

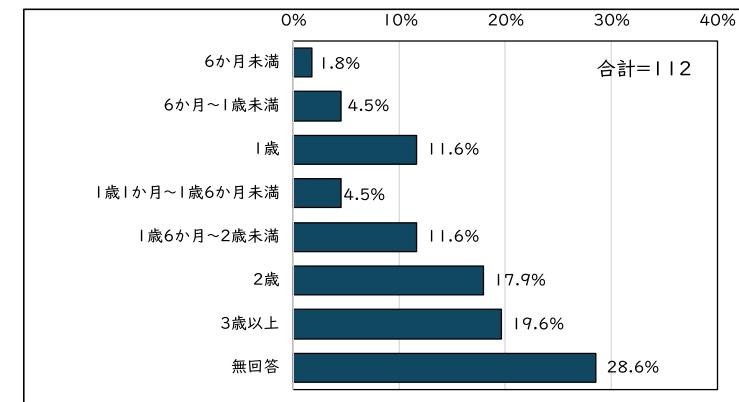
第2部 調査の結果（小学生の保護者に対する調査）

問 21-4 （問 21-2 で「1と回答された方に）育児休業は、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月まで取得しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、お子さんが何歳何ヶ月まで取得したかったですか。

【母親の職場復帰時期（実際）】

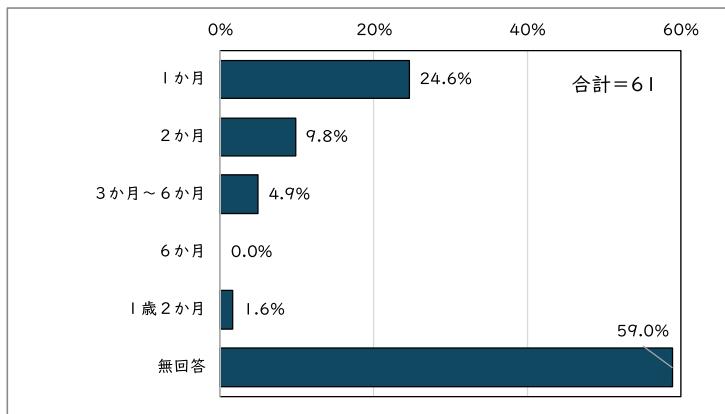


【母親の職場復帰時期（希望）】

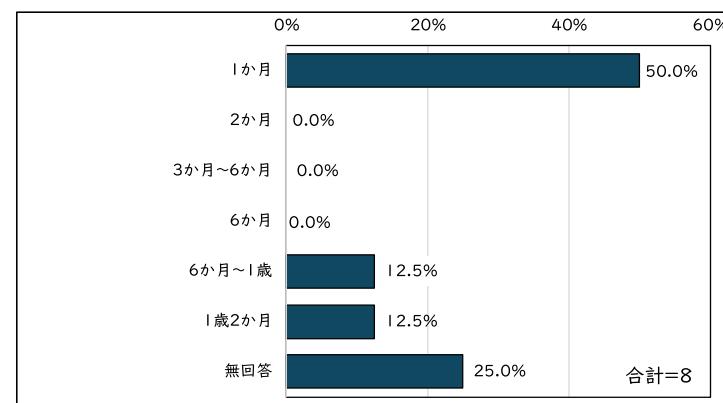


- 母親の46.5%が子どもが1歳の時までに職場復帰していますが、希望を見ると1歳までと回答した人の割合は17.9%にとどまり、3歳以上と回答している人は19.6%となっています。

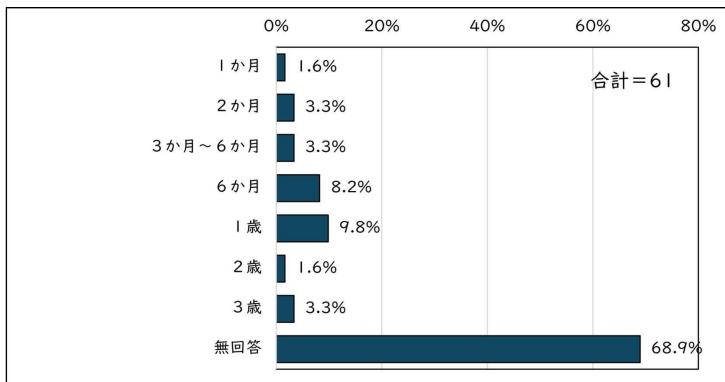
【父親の職場復帰時期（実際）】



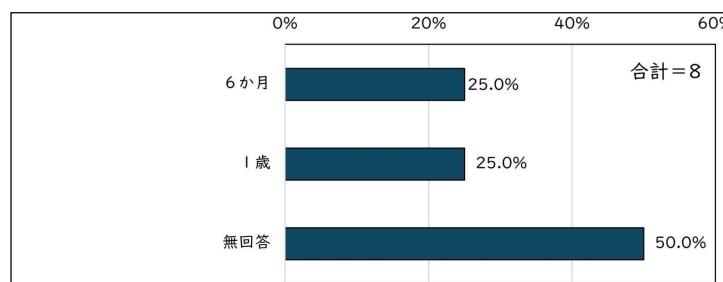
【父親の職場復帰時期（実際）】



【父親の職場復帰時期（希望）】



【父親の職場復帰時期（希望）】



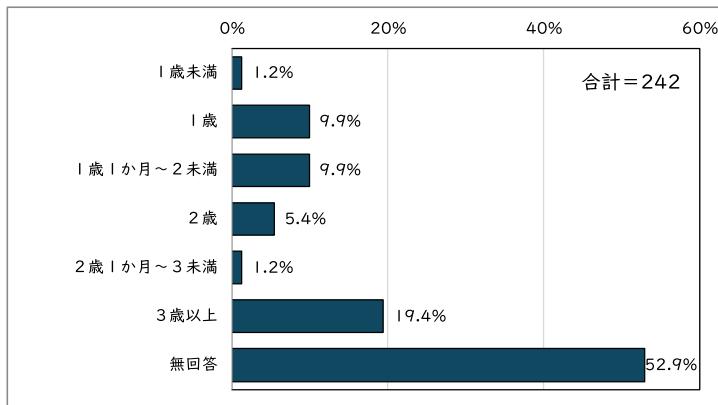
- 父親の職場復帰時期については、こどもが「1ヶ月」が50.0%となっていますが、希望を見ると「6ヶ月」以上の人人が50.0%となっています。残りの50.0%は無回答を選択しています。

- 父親の育児休業取得期間は母親と比べると短く、育児休業を取得した父親の24.6%が1ヶ月以内に職場復帰しています。希望では1歳が最多の9.8%で、次いで6ヶ月が8.2%となっています。また、1歳以上、3歳まで利用したいと回答している人は4.9%となっています。

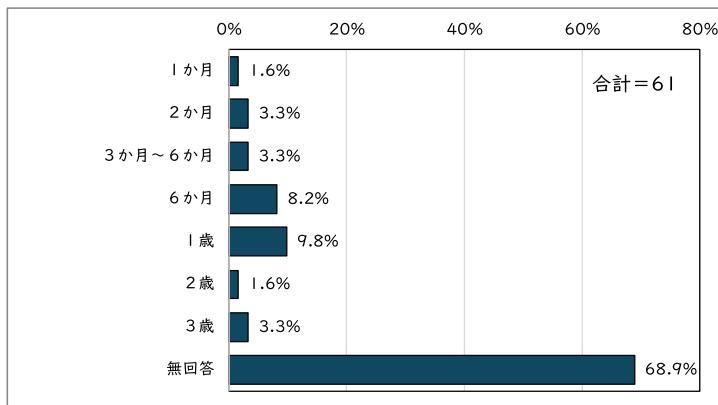
第2部 調査の結果（就学前児童の保護者に対する調査）

問 28-5 （問 28-2 で「1」と回答された方に）お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としては、お子さんが何歳何ヶ月まで取りたいと思われますか。

【母親】



【父親】

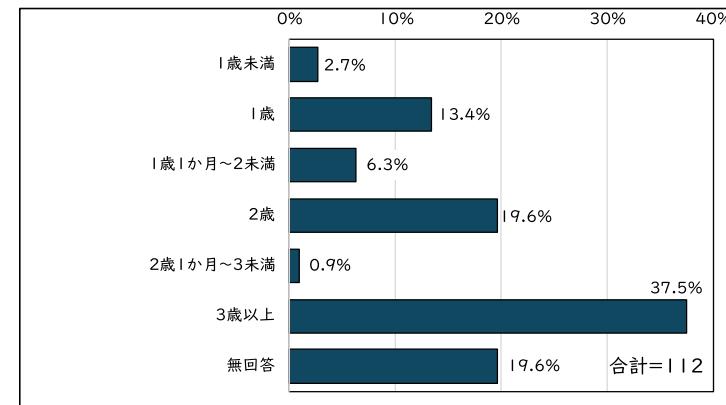


- 勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の、母親の育児休業取得希望は、「3歳以上」が19.4%と高い割合となっています。
- 一方、父親については、母親に比べると短い育児休業を希望する人が多くなっています。具体的には「1歳」が最多で9.8%、次いで「6か月」が8.2%となっています。

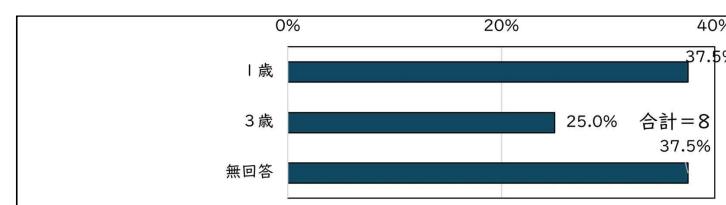
第2部 調査の結果（小学生の保護者に対する調査）

問 21-5 （問 21-2 で「1」と回答された方に）お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としては、お子さんが何歳何ヶ月まで取りたいと思われますか。

【母親】



【父親】



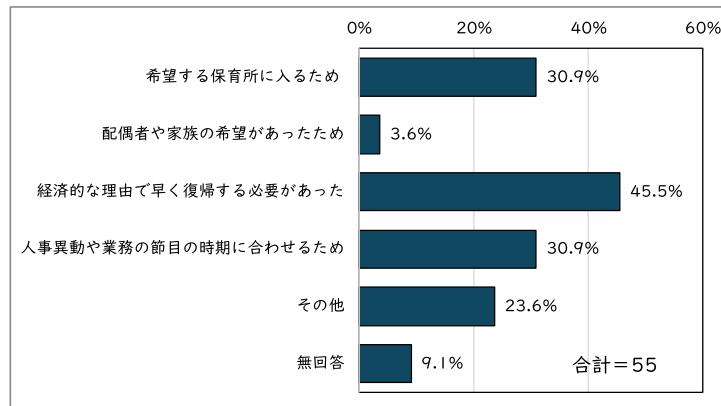
- 勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の、母親の育児休業取得希望は、「3歳以上」が37.5%と高い割合となっています。
- 父親の希望としては、「1歳」が37.5%、「3歳」が25.0%となっています。

第2部 調査の結果（就学前児童の保護者に対する調査）

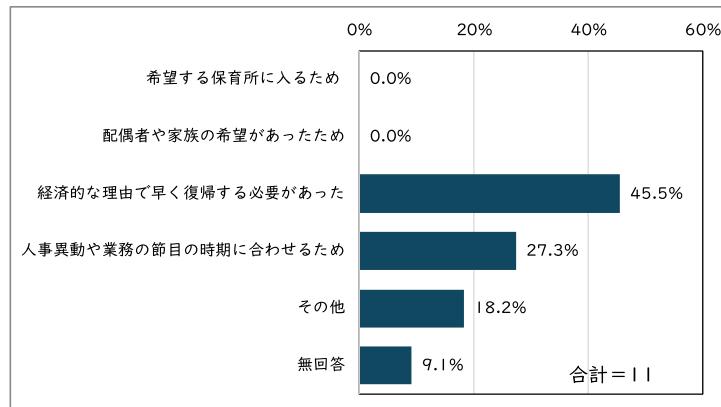
問 28-6 （問 28-4 で「実際」と「希望」が異なる方に）希望時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

(1) 希望より早く復帰した方

【母親】



【父親】



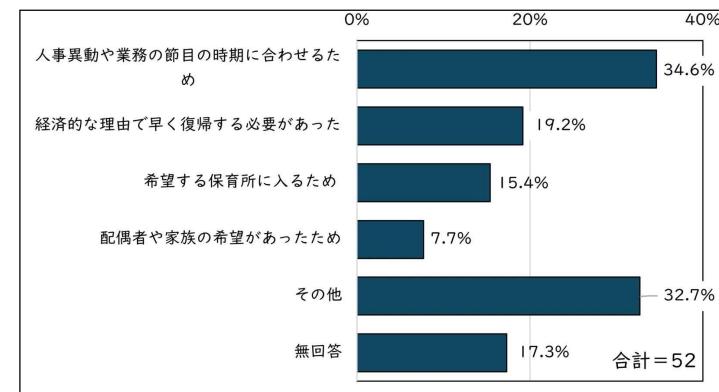
- 育児休業から希望より早く復帰した母親にその理由を尋ねたところ、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」という回答が 45.5%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」「希望する保育所に入るため」という回答が 30.9% とそれ以上位にあがっています。
- 父親については、回答数は 11 件で有効回答数が少なく精度に問題がありますが、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」という回答が最多で 45.5%、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 27.3% となっています。

第2部 調査の結果（小学生の保護者に対する調査）

問 21-6 （問 21-4 で「実際」と「希望」が異なる方に）希望時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

(1) 希望より早く復帰した方

【母親】



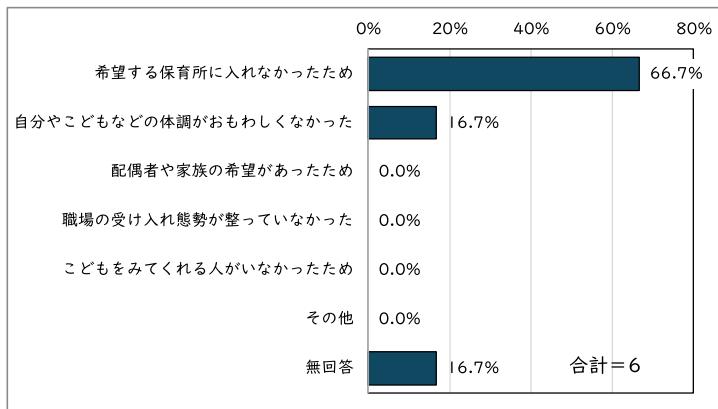
- 育児休業から希望より早く復帰した母親にその理由を尋ねたところ、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」という回答が 34.6%、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」という回答が 19.2% と、それぞれ上位にあがっています。
- 「その他」の回答としては、「職場から復帰を促された」「職場の規約」「あまり長く休むと職場に良く思われないと思ったから」等があがっています。
- 育児休業から希望より早く復帰した父親は 4 人いましたが、理由の回答は「希望する保育所に入れなかったため」、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」、「その他」がそれぞれ 1 件でした。

(2) 希望より遅く復帰した方

- 育児休業から希望より遅く復帰した母親は 2 人いましたが、理由の回答は「希望する保育所に入れなかったため」という回答が 2 件、「その他」が 1 件でした。
- 父親については該当者がいませんでした。

(2) 希望より遅く復帰した方

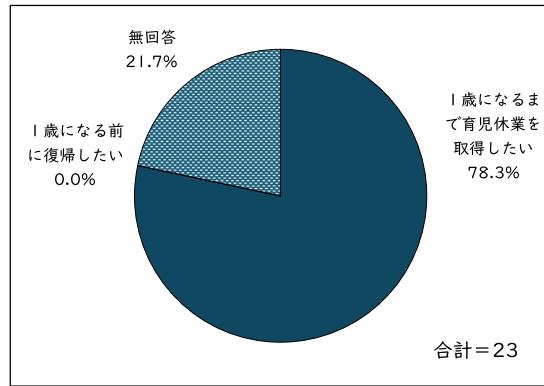
【母親】



- 育児休業から希望より遅く復帰した母親にその理由を尋ねたところ、「希望する保育所に入れなかつたため」が 66.7%と最も高い割合となっています。
- 父親については該当者はありませんでした。

問 28-7 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。（○は1つ）

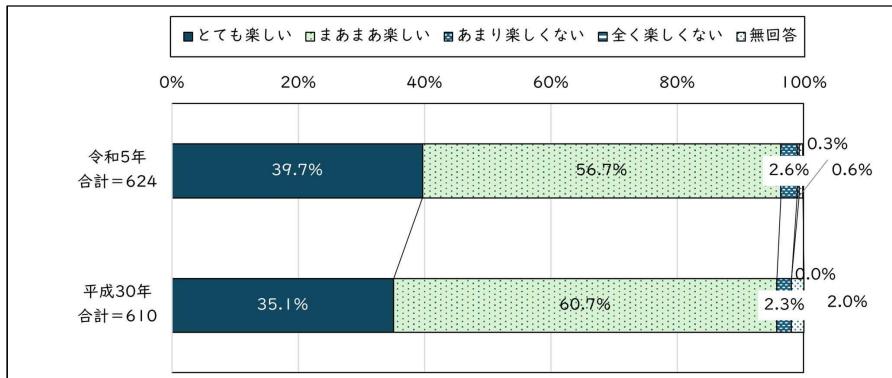
【母親】



- こどもが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、「1歳になるまで育児休業を取得したい」と回答した人の割合は78.3%となっています。
- 父親については3人が回答しており、「1歳になる前に復帰したい」が1人、無回答が2人でした。

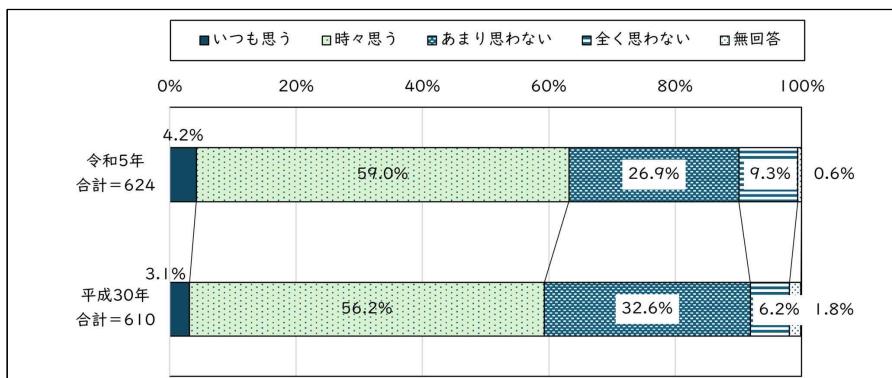
12. 日常の子育てなどについて

問29 子育ては楽しいですか。(○は1つ)



- 子育ては「とても楽しい」、「まあまあ楽しい」と回答した人が96.4%と大半を占めていますが、一方で2.6%の人が「あまり楽しくない」と回答しています。
- 前回調査結果と比べると、あまり大きな差異は見られませんが、「全く楽しくない」と回答した人は0.3%高くなっています。

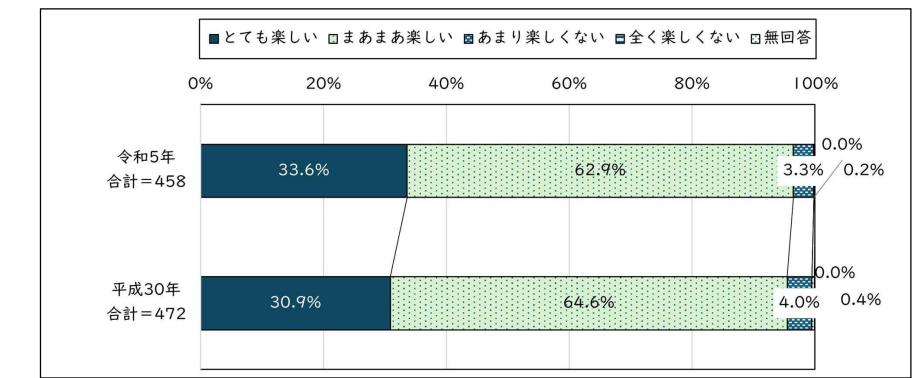
問30 子育てがつらいと思うことはありますか。(○は1つ)



- 子育てがつらいと「いつも思う」と回答した人は4.2%、「時々思う」は59.0%となっています。
- 前回調査結果と比べると、「いつも思う」「時々思う」という回答割合が、59.3%から63.2%と、3.9ポイント高くなっています。

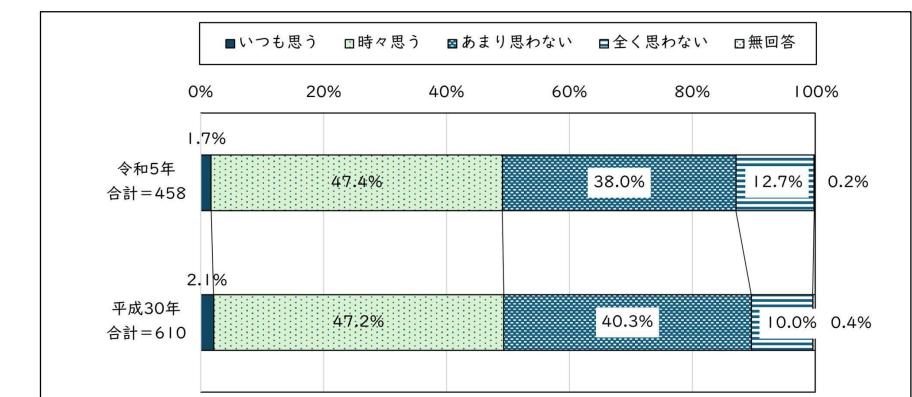
8. 日常の子育てなどについて

問22 子育ては楽しいですか。(○は1つ)



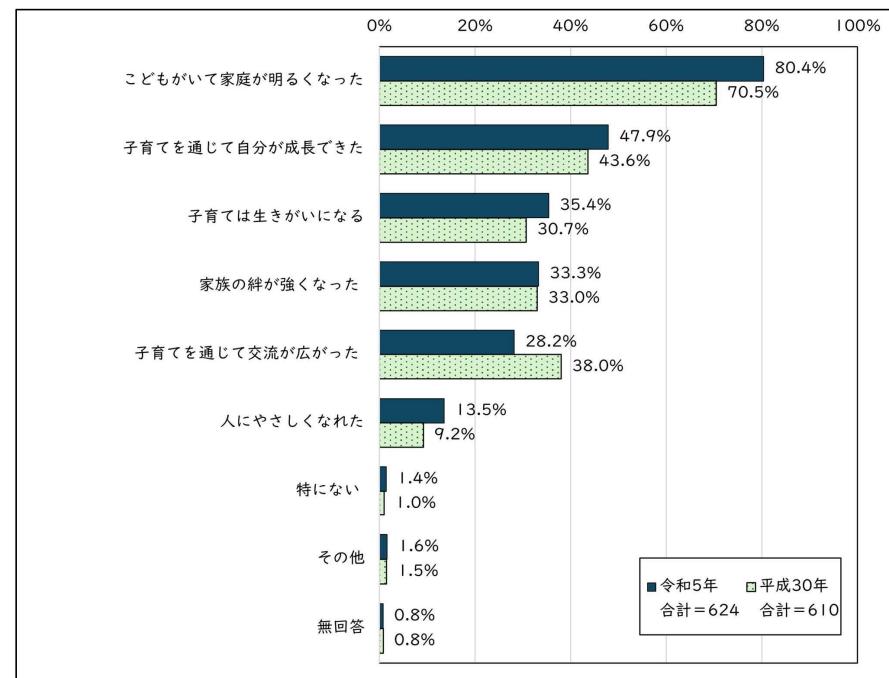
- 子育ては「とても楽しい」、「まあまあ楽しい」と回答した人が96.5%と大半を占めていますが、一方で3.3%の人が「あまり楽しくない」と回答しています。
- 前回調査結果と比べると、あまり大きな差異は見られませんが、「とても楽しい」と回答した人が2.7ポイント増えています。

問23 子育てがつらいと思うことはありますか。(○は1つ)



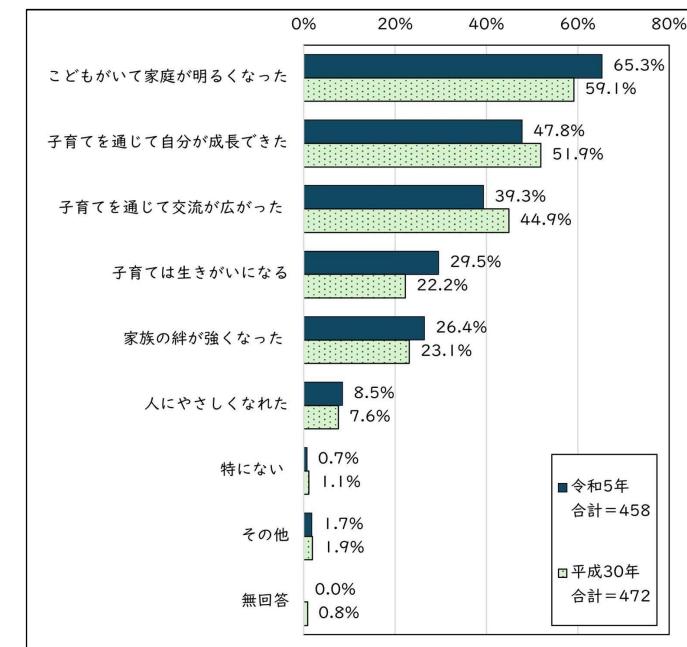
- 子育てがつらいと「いつも思う」と回答した人は1.7%、「時々思う」は47.4%となっています。
- 前回調査結果と比べると、「あまり思わない」という回答割合が、40.3%から38.0%と、2.3ポイント減っています。

問31 子育てを通してよかったです感じていることは何ですか。（○は2つまで）



- 子育てを通してよかったです感じていることとしては、「子どもがいて家庭が明るくなった」と回答した人の割合が80.4%と最も高く、以下、「子育てを通じて自分が成長できた」(47.9%)、「子育ては生きがいになる」(35.4%)と続いています。
- 前回調査結果と比べると、「子どもがいて家庭が明るくなった」が9.9ポイント回答割合が高く、子育てを通じて交流が広がった」が9.8ポイント低くなっています。

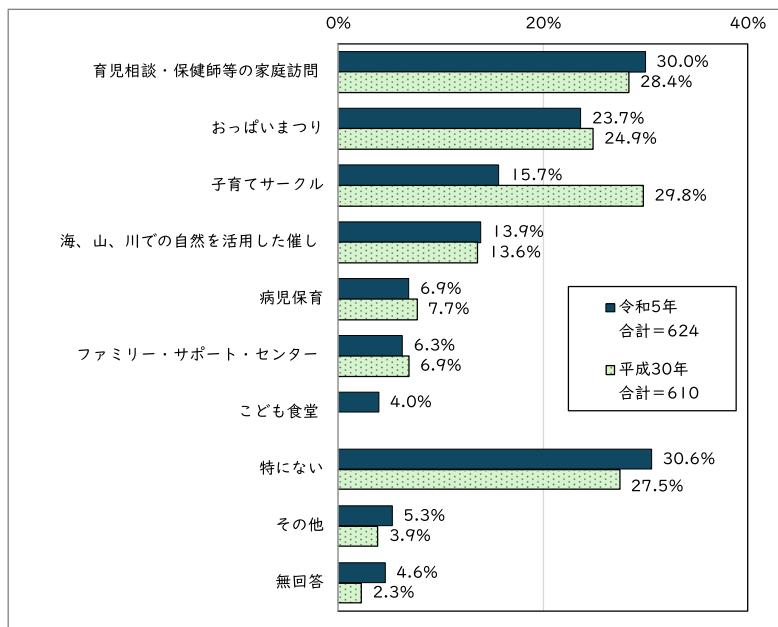
問24 子育てを通してよかったです感じていることは何ですか。（○は2つまで）



- 子育てを通してよかったです感じていることとしては、「子どもがいて家庭が明るくなった」と回答した人の割合が65.3%と最も高く、以下、「子育てを通じて自分が成長できた」(47.8%)、「子育てを通じて交流が広がった」(39.3%)と続いています。
- 前回調査結果と比べると「子育てを通じて交流が広がった」が5.6ポイント減っています。

第2部 調査の結果（就学前児童の保護者に対する調査）

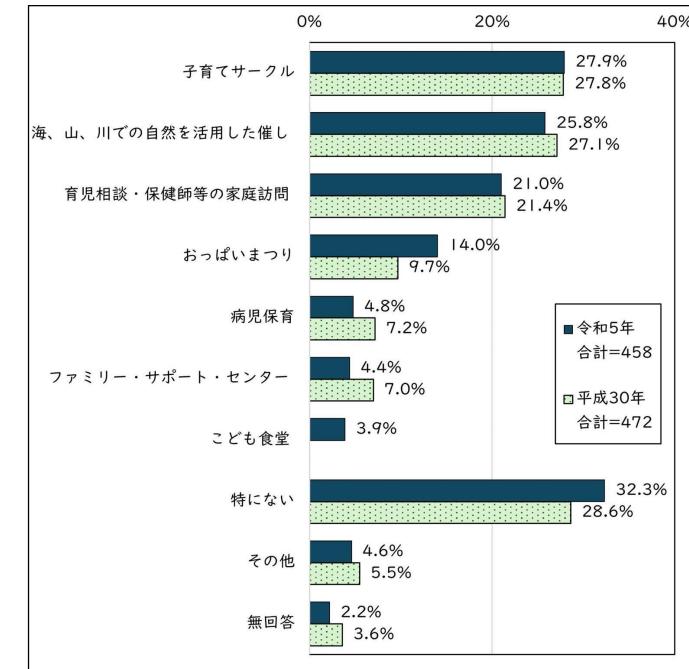
問32 利用してよかったです、助かったと思う制度や、参加してよかったですと思う催し等はありますか。
(○はあてはまるものすべて)



- 利用してよかったです、助かったと思う制度や、参加してよかったですと思う催し等としては、「育児相談・保健師等の家庭訪問」と回答した人の割合が30.0%と最も高くなっています。以下、「おっぱいまつり」(23.7%)、「子育てサークル」(15.7%)と続いています。
- 前回調査結果と比べると、「子育てサークル」が前回(29.8%)と比べて14.1ポイント回答割合が低くなっています。

第2部 調査の結果（小学生の保護者に対する調査）

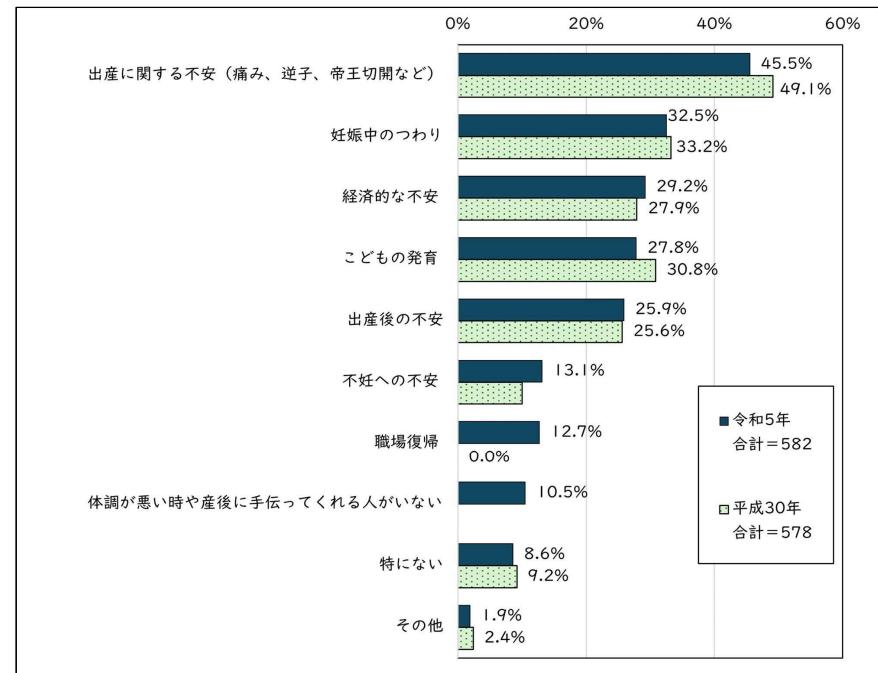
問25 利用してよかったです、助かったと思う制度や、参加してよかったですと思う催し等はありますか。
(○はあてはまるものすべて)



- 利用してよかったです、助かったと思う制度や、参加してよかったですと思う催し等としては、「子育てサークル」(27.9%)と「海、山、川での自然を活用した催し」(25.8%)が上位にあがっており、「育児相談・保健師等の家庭訪問」(21.0%)がそれに続いています。
- 前回調査結果と比べると「おっぱいまつり」が4.3ポイント増えています。

第2部 調査の結果（就学前児童の保護者に対する調査）

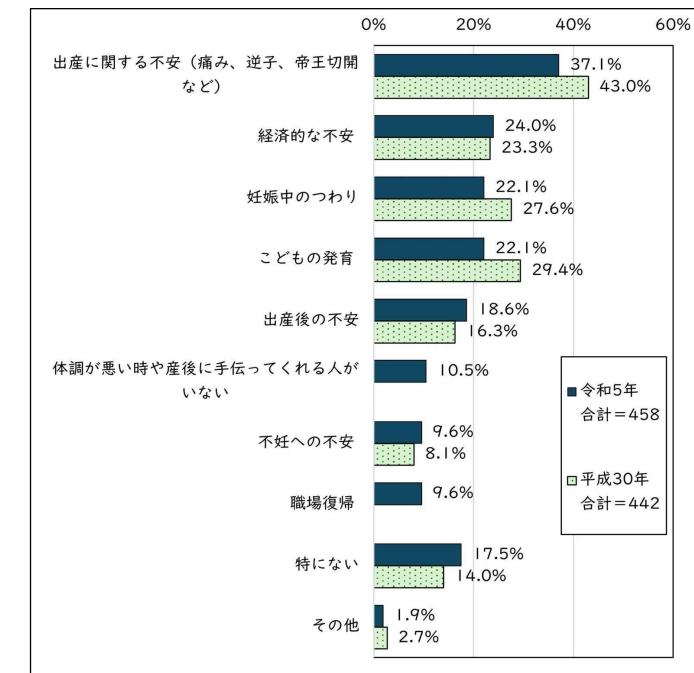
問33 (女性の方におうかがいします。) 妊娠・出産に不安や悩みがありましたか。
(○は2つまで)



- 妊娠・出産の不安や悩みとしては、「出産に関する不安（痛み、逆子、帝王切開など）」と回答した人の割合が 45.5% と最も高くなっています。以下、「妊娠中のつわり」(32.5%)、「経済的な不安」(29.2%)、「子どもの発育」(27.8%) と続いています。
- 前回調査結果と比べ回答割合が高くなったのは、「経済的な不安」で、逆に低くなったのは「出産に関する不安」となっています。

第2部 調査の結果（小学生の保護者に対する調査）

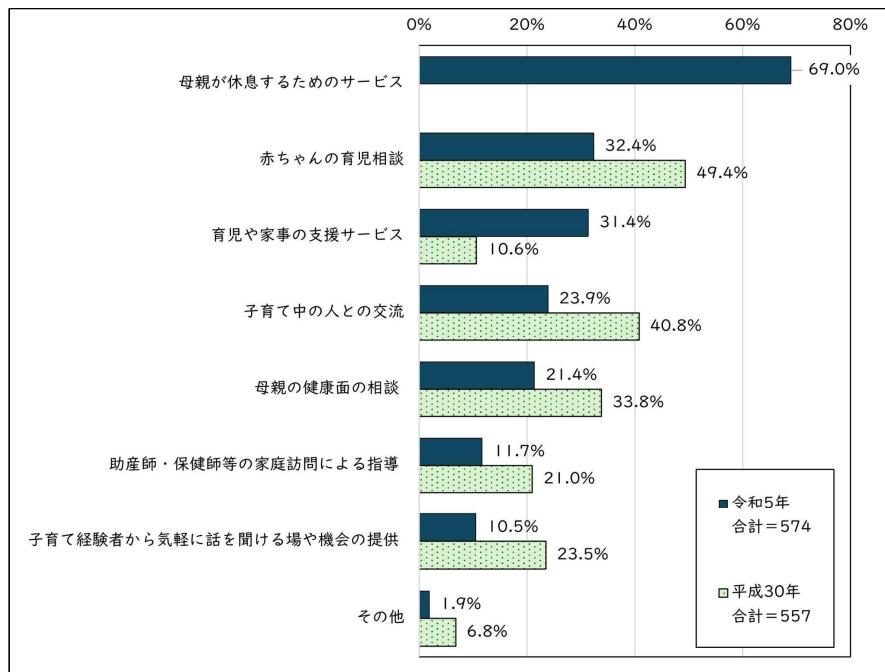
問26 (女性の方におうかがいします。) 妊娠・出産に不安や悩みがありましたか。
(○は2つまで)



- 妊娠・出産の不安や悩みとしては、「出産に関する不安（痛み、逆子、帝王切開など）」と回答した人の割合が 37.1% と最も高くなっています。以下、「経済的な不安」(24.0%)、「妊娠中のつわり」(22.1%)、「子どもの発育」(22.1%)、と続いています。
- 前回調査結果と比べ回答割合が高くなったのは、「経済的な不安」(0.7 ポイント) で、逆に低くなったのは「出産に関する不安」、「妊娠中のつわり」、「子どもの発育」となっています。

第2部 調査の結果（就学前児童の保護者に対する調査）

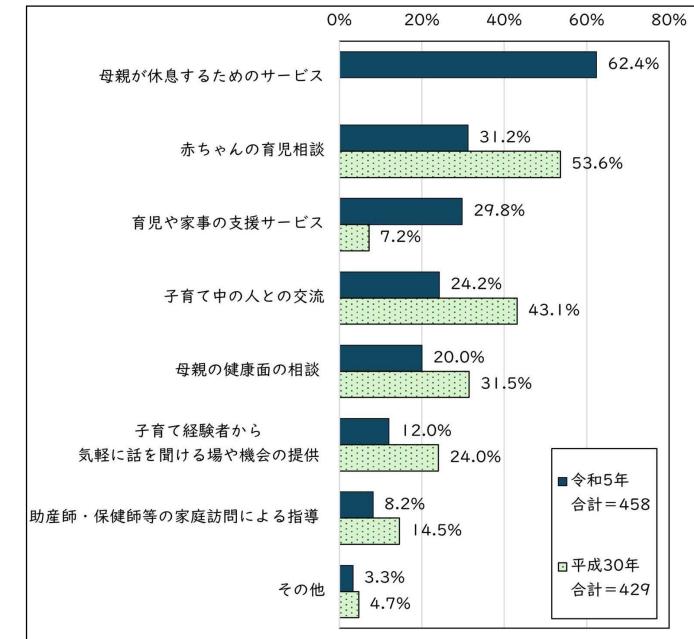
問33-1 （女性の方におうかがいします。）妊娠中や出産後のサポートとして、どのようなサービスが重要だと思いますか。（○は2つまで）



- 妊娠中や出産後のサポートとして重要なサービスとしては、「母親が休息するためのサービス」と回答した人の割合が69.0%と圧倒的に高くなっています。以下、「赤ちゃんの育児相談」(32.4%)、「育児や家事の支援サービス」(31.4%)と続いています。
- 前回調査結果と比べ回答割合が高くなったのは、「育児や家事の支援サービス」で、逆に低くなったのは「赤ちゃんの育児相談」、「子育て中の人との交流」となっています。

第2部 調査の結果（小学生の保護者に対する調査）

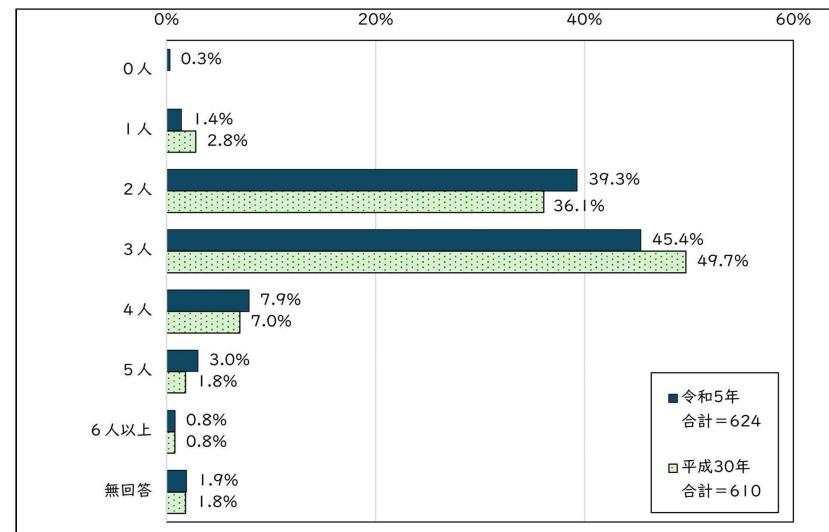
問26-1 （女性の方におうかがいします。）妊娠中や出産後のサポートとして、どのようなサービスが重要だと思いますか。（○は2つまで）



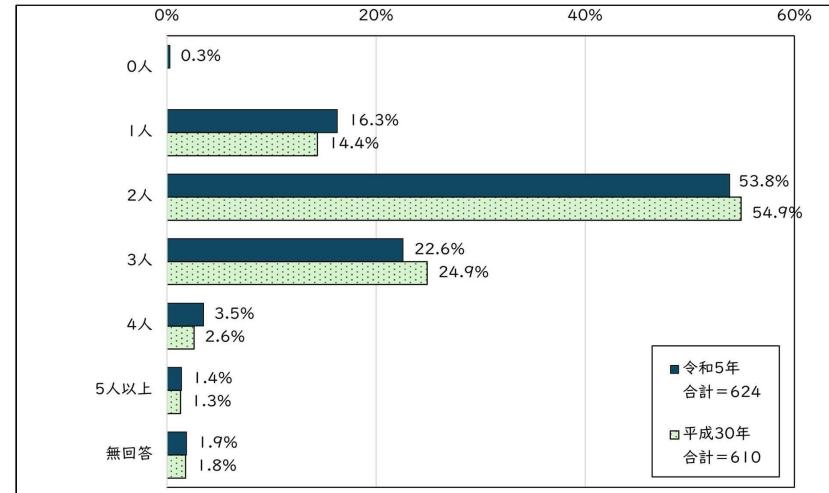
- 妊娠中や出産後のサポートとして重要なサービスとしては、「母親が休息するためのサービス」と回答した人の割合が62.4%と圧倒的に高くなっています。以下、「赤ちゃんの育児相談」(31.2%)、「育児や家事の支援サービス」(29.8%)と続いています。
- 前回調査結果と比べ回答割合が高くなったのは、「育児や家事の支援サービス」で、逆に低くなったのは「赤ちゃんの育児相談」、「子育て中の人との交流」となっています。

問34 お子さんの人数についておうかがいします。

1. お子さんを何人育てたいと考えますか。（理想）



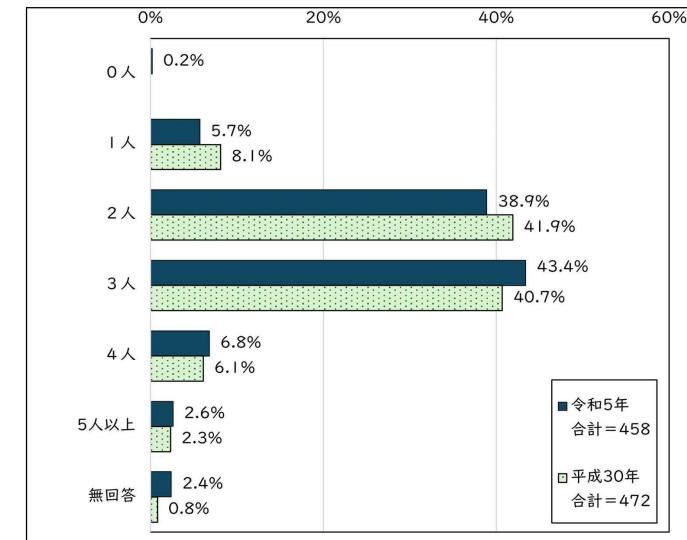
2. 現実に育てられると思うお子さんの人数は何人ですか。



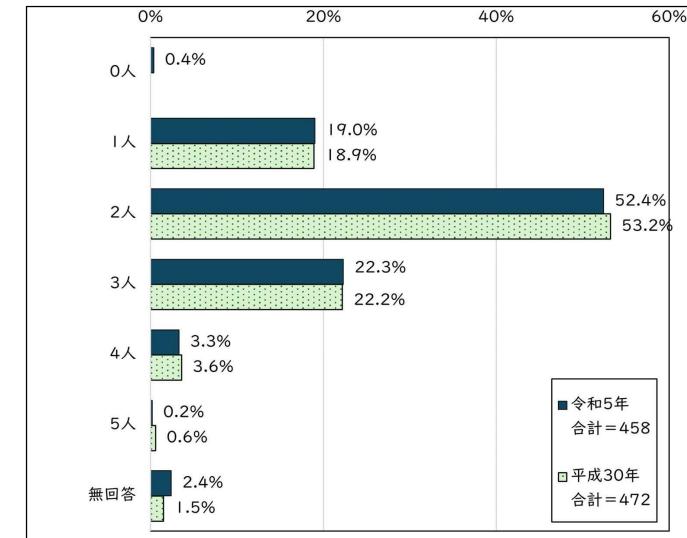
- 理想のこども人数は、「3人」(45.4%)、現実のこども人数は「2人」(53.8%)がそれぞれ最も高い回答割合となっており、前回調査結果と同じ傾向を示しています。

問27 お子さんの人数についておうかがいします。

1. お子さんを何人育てたいと考えますか。（理想）

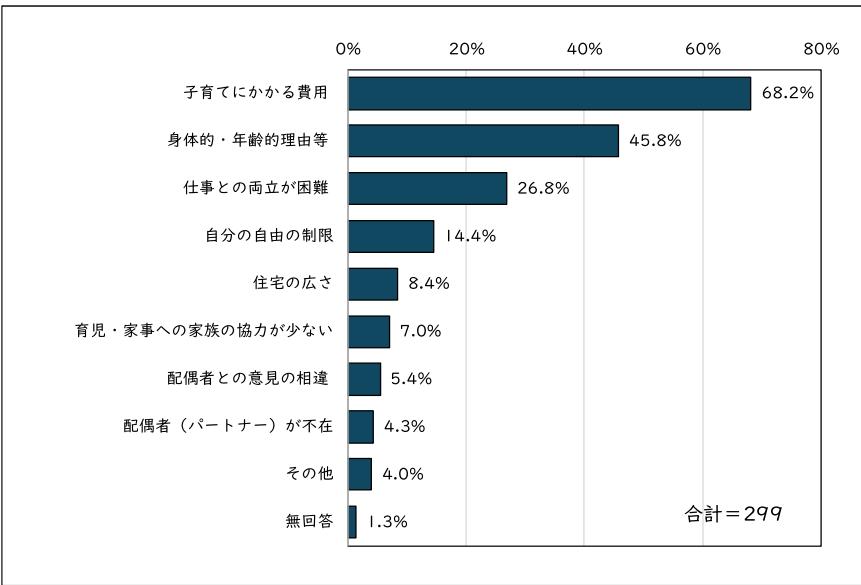


2. 現実に育てられると思うお子さんの人数は何人ですか。



第2部 調査の結果（就学前児童の保護者に対する調査）

問 34-1 （問 34 で理想より現実が少ない方に） 理想の人数のお子さんを持つことができない理由は何ですか。（○は 2 つまで）



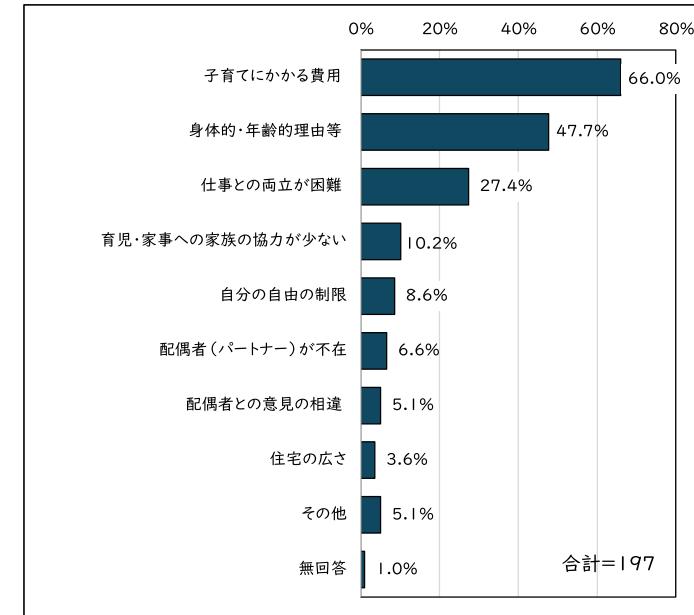
- 理想の人数のお子さんを持つことができない理由については、「子育てにかかる費用」と回答した人の割合が 68.2% と最も高く、以下、「身体的・年齢的理由等」(45.8%)、「仕事との両立が困難」(26.8%) と続いています。

第2部 調査の結果（小学生の保護者に対する調査）

- 理想のこども人数は、前回に比べ「3人」という回答が高くなり、「3人」(43.4%)が「2人」(38.9%)をやや上回っています。
- 現実に育てられると思うこどもの数については、「2人」が 52.4% と最も高い回答割合となっており、他は前年度とあまり差異は見受けられません。

問 27-1 （問 27 で理想より現実が少ない方に）

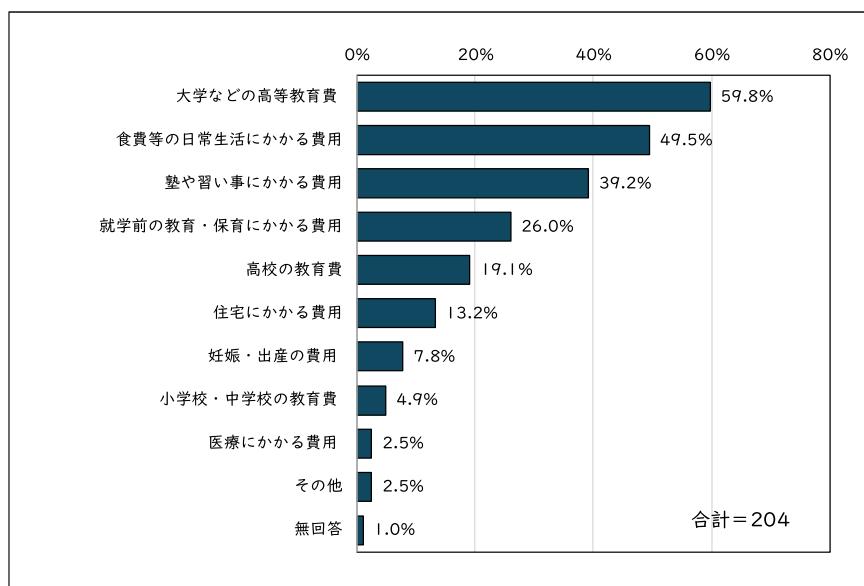
理想の人数のお子さんを持つことができない理由は何ですか。（○は 2 つまで）



- 理想の人数のお子さんを持つことができない理由については、「子育てにかかる費用」と回答した人の割合が 66.0% と最も高く、以下、「身体的・年齢的理由等」(47.7%)、「仕事との両立が困難」(27.4%) と続いています。

問34-2（問34-1で「1」と回答された方に）

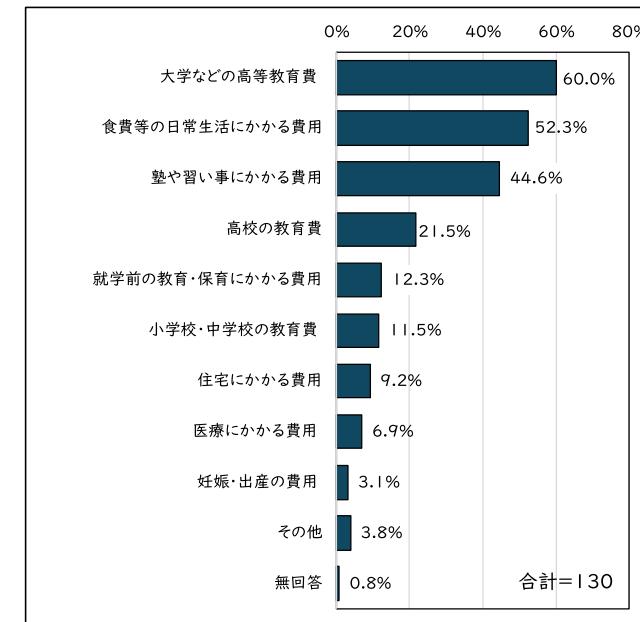
子育てにかかる費用の中で特に負担と感じるのはどれですか。（○は2つまで）



- 子育てにかかる費用の中で特に負担と感じる費用については、「大学などの高等教育費」と回答した人の割合が59.8%と最も高く、以下、「食育等の日常生活にかかる費用」(49.5%)、「塾や習い事にかかる費用」(39.2%)と続いています。

問27-2（問27-1で「1」と回答された方に）

子育てにかかる費用の中で特に負担と感じるのはどれですか。（○は2つまで）

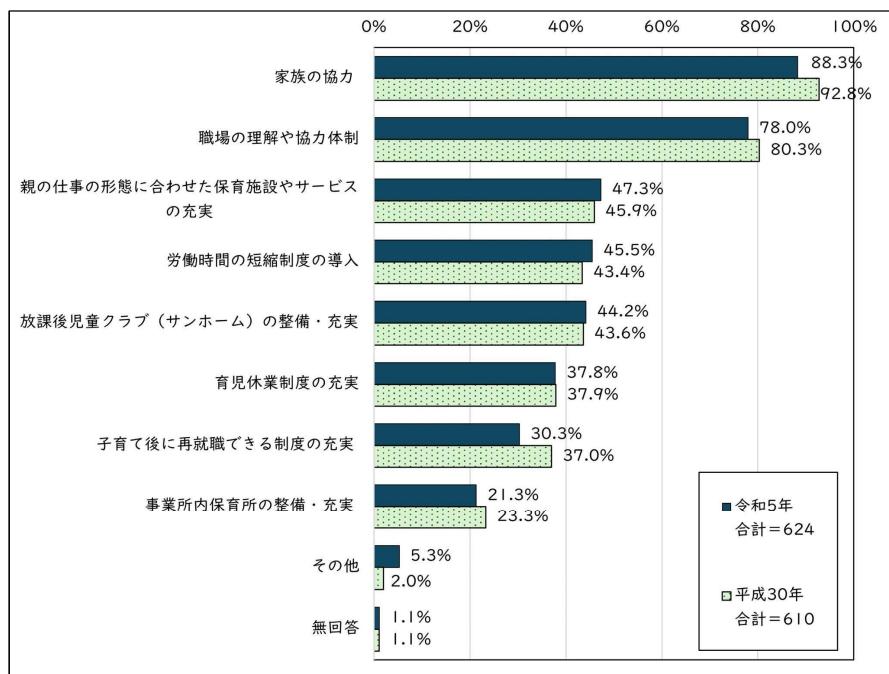


- 子育てにかかる費用の中で特に負担と感じる費用については、「大学などの高等教育費」と回答した人の割合が60.0%と最も高く、以下、「食育等の日常生活にかかる費用」(52.3%)、「塾や習い事にかかる費用」(44.6%)と続いています。

第2部 調査の結果（就学前児童の保護者に対する調査）

問35 こどもを育てるうえで、仕事と子育てを両立させるためには何が必要だと思いますか。

(○はあてはまるものすべて)

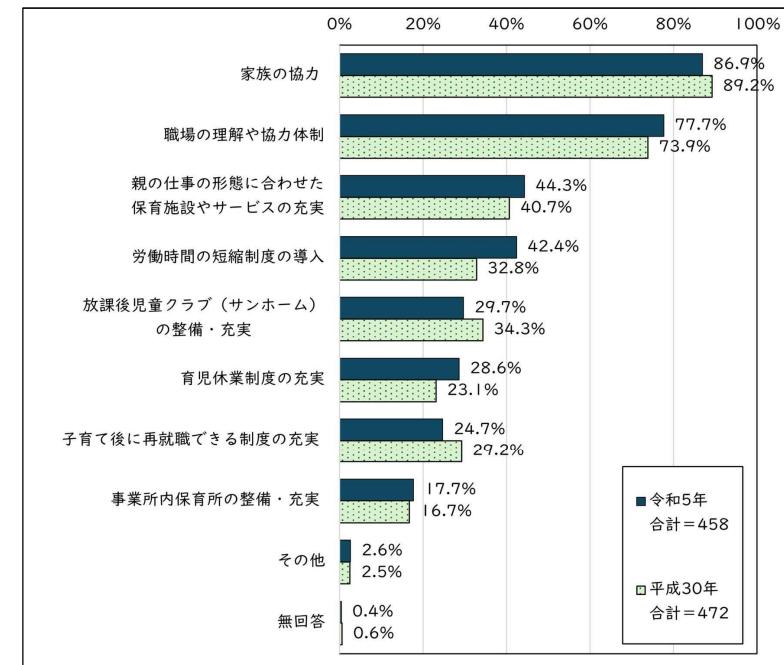


- 仕事と子育てを両立させるために必要なこととしては、「家族の協力」という回答割合が 88.3% と最も高くなっています。以下、「職場の理解や協力体制」(78.0%)、「親の仕事の形態に合わせた保育施設やサービスの充実」(47.3%)、「労働時間の短縮制度の導入」(45.5%) と続いています。
- 前回調査結果と比べ回答傾向はほとんど変わりませんが、「家族の協力」「職場の理解や協力体制」共に減少傾向がみられます。

第2部 調査の結果（小学生の保護者に対する調査）

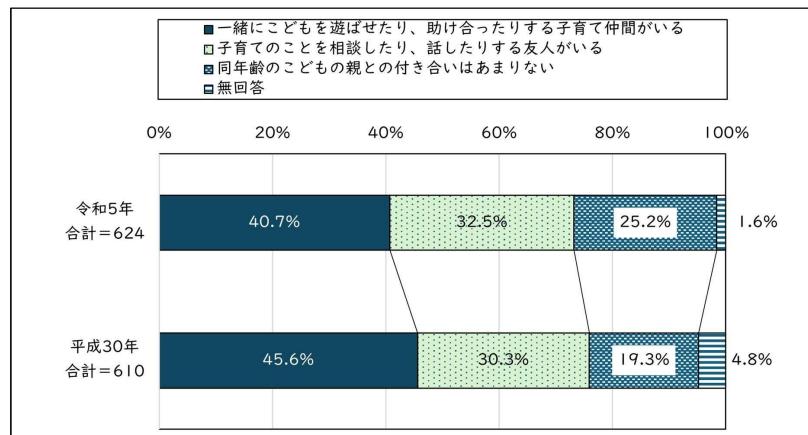
問28 こどもを育てるうえで、仕事と子育てを両立させるためには何が必要だと思いますか。

(○はあてはまるものすべて)



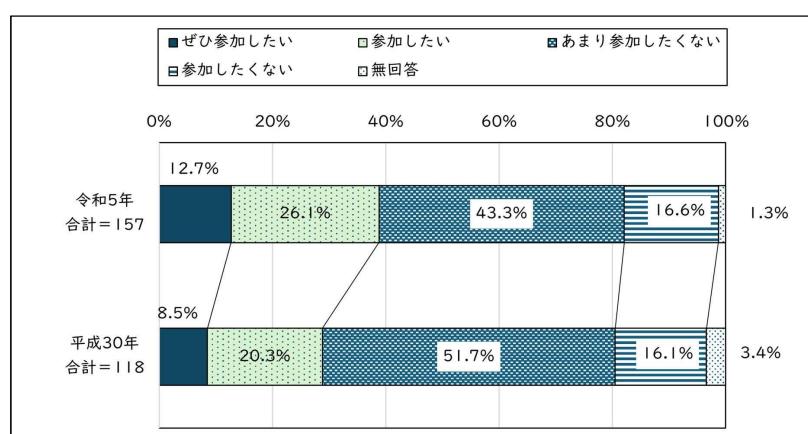
- 仕事と子育てを両立させるために必要なこととしては、「家族の協力」という回答割合が 86.9% と最も高くなっています。以下、「職場の理解や協力体制」(77.7%)、「親の仕事の形態に合わせた保育施設やサービスの充実」(44.3%)、「労働時間の短縮制度の導入」(42.4%) と続いています。
- 前回調査結果と比べ回答割合が高くなったのは、「職場の理解や協力体制」、「親の仕事の形態に合わせた保育施設やサービスの充実」、「労働時間の短縮制度の導入」で、逆に低くなったのは「家族の協力」となっています。

問36 子をもつ親同士のつきあい、育児のグループ等の子育ての仲間はいますか。（○は1つ）



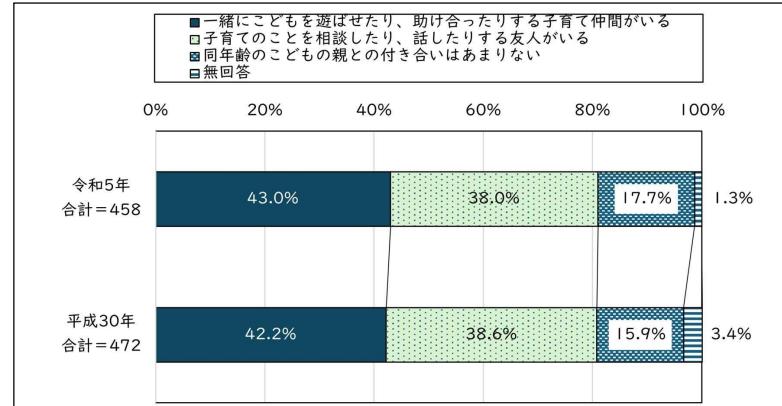
- 「一緒に子どもを遊ばせたり、助け合ったりする子育て仲間がいる」と回答した人の割合は40.7%と、前回の調査結果と比べ4.9ポイント低くなっています、「同年代の子どもの親との付き合いはあまりない」と回答した人の割合は25.2%と、前回と比べて5.9ポイント増えています。

問36-1（問36で3と回答された方に）子育ての仲間作りの機会があれば、参加したいと思いますか。（○は1つ）



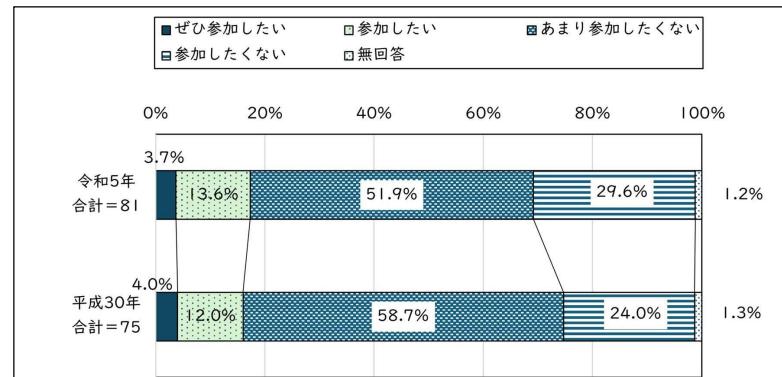
- 分析文前問で「同年代の子どもの親との付き合いはあまりない」と回答した人に子育ての仲間作りの機会への参加意向を尋ねたところ、「ぜひ参加したい」(12.7%)、「参加したい」(26.1%)と回答した人は38.8%となっており、前回調査結果を10.0ポイント上回っています。

問29 子をもつ親同士のつきあい、育児のグループ等の子育ての仲間はいますか。（○は1つ）



- 「一緒に子どもを遊ばせたり、助け合ったりする子育て仲間がいる」と回答した人の割合は43.0%と、前回の調査結果を0.8ポイント上回っていますが、「子育てのことを相談したり、話したりする友人がいる」と回答した人の割合(38.0%)を合わせると、前回とあまり変わらない結果となっています。

問29-1（問29で3と回答された方に）子育ての仲間作りの機会があれば、参加したいと思いますか。（○は1つ）



- 前問で「同年代の子どもの親との付き合いはあまりない」と回答した人に子育ての仲間作りの機会への参加意向を尋ねたところ、「あまり参加したくない」と回答した人は51.9%となっており、前回調査結果を6.8ポイント下回っています。